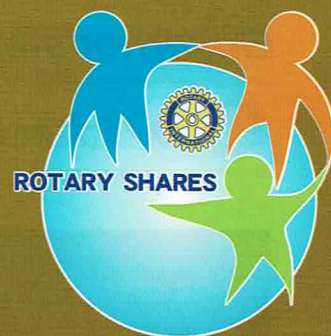


# Governor's Monthly Letter



To Club Presidents and Secretaries

Rotary International District 2550 (Tochigi, Japan)

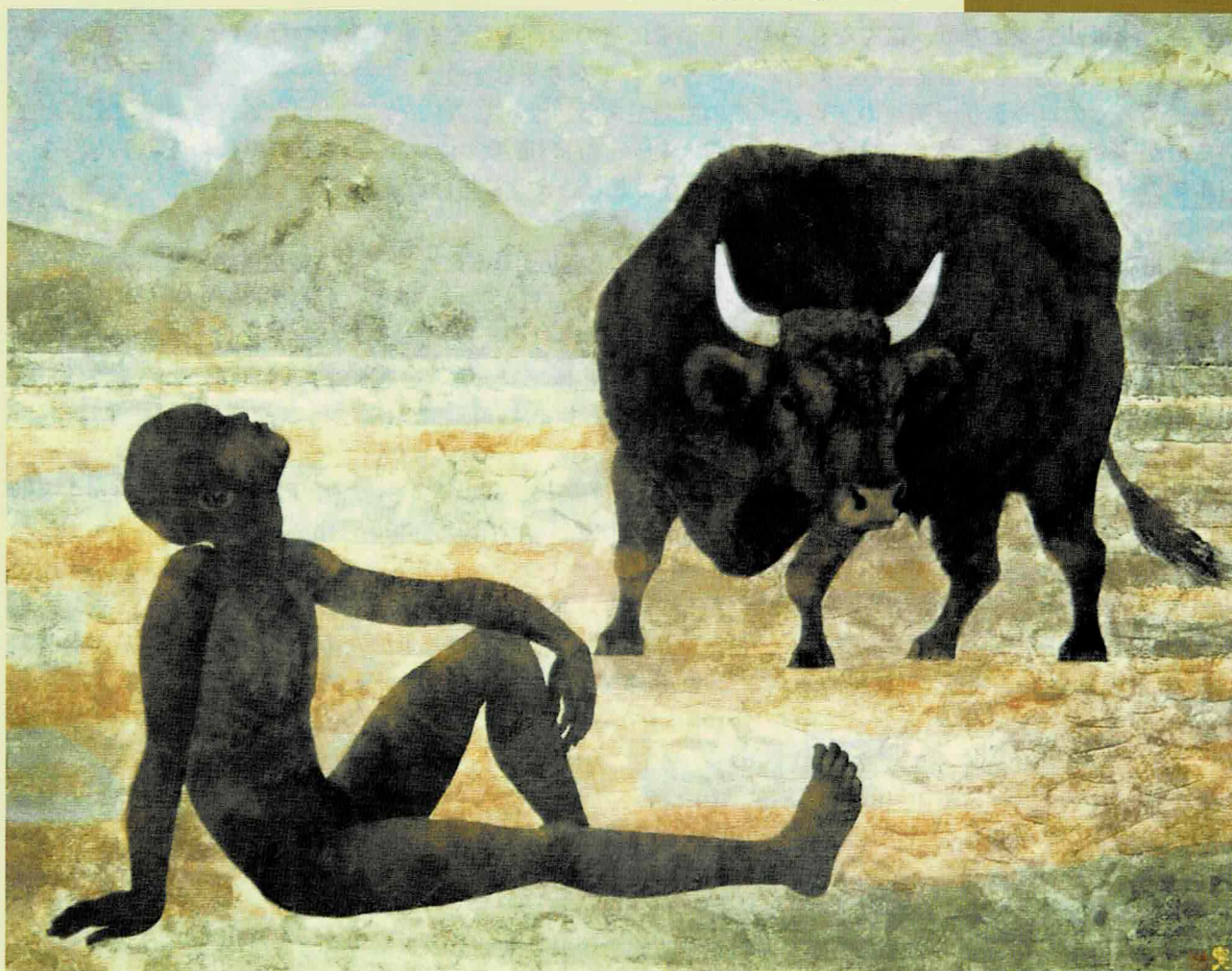
RI会長 ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

ガバナー 近藤 隆 亮

2007~2008年度

国際ロータリーテーマ **ROTARY SHARES**

ロータリーは分かちあいの心



米陀 寛 題名[牧牛]

## 目次

- |                           |                         |
|---------------------------|-------------------------|
| P. 1 近藤ガバナーメッセージ          | P. 10 ガバナーノミニ候補者推薦について  |
| P. 2 奉仕プロジェクト             | P. 11 公式訪問だより           |
| P. 3 第11回 インターアクト・クラブ年次大会 | P. 14 第2550地区 新入会員      |
| P. 5 インターアクトクラブ海外研修       | P. 15 物故会員・文庫通信 240号    |
| P. 6 米山記念奨学会              | P. 16 2007~08年 地区主要行事予定 |
| P. 7 第一回会長・幹事会            | ロータリーの綱領、お知らせ           |
| P. 9 2007~08年度 パスト会長の集い   |                         |

10月:職業奉仕・米山月間



国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所

〒320-0802 栃木県宇都宮市江野町1番12号 栃木実業ビル2階

TEL 028-651-2550 FAX 028-651-2551

E-mail : k2550@lemon.plala.or.jp

今月のロータリーレート

1米ドル=116円

2007.10

# NO.4





### 「ロータリーの“Service”」を考えよう



国際ロータリー第2550地区  
2007-2008年度ガバナー

近藤 隆 亮 (宇都宮RC)

我々ロータリアンにとり、最もなじみ深く且つ常にその本質を考える事を義務つけられている言葉の一つが「奉仕」であり、その原語である英語の“Service”でありましょう。

最近の多くのロータリー関連の文書は、その原語である「サービス」を「奉仕」なる日本語で表記されているのが常であります。然し、ロータリーの四大奉仕、特に「職業奉仕」についてその奉仕の理念的内容を、日本語の「奉仕」なる言葉から理解するのはなかなか難しいように思われます。

昨年出版された「ロータリーの心と原点」-Back to Basics 基本に返ろう- (廣畑富雄 著)によれば、日本におけるロータリアンの先人達は、英語の「service」を日本語に訳さずに原語の「サービス」をそのまま使用されたとのことです。その理由は、ロータリーにおける「サービス」と、日本語の「奉仕」の間には意味・ニュアンスの違いがあり、「奉仕」なる日本語でロータリー活動での「サービス」を正確に解釈・説明することに無理があると判断したためとの事です。即ち、

ロータリー活動の基本とされている「サービス」は、英語の広義の「サービス」の意味、即ち、「相手を助け、相手のためになるような行為」(an act of helpful activity, action that made to help or to benefit a person, others or society)であり、相互に極めてフラットな関係者間での行為を示すが、日本語の「奉仕」は本来、「仕え奉る」(広辞苑)意味であり、相互の上下関係を基とした行為であるとされています。又、アーサー・フレデリック・シェルドンは、「サービスとは、世のため、人のためになると同時に、事業を繁栄させ、そして本人の幸せにも至る道である」(1921年 エジンバラでのスピーチ-Philosophy of Rotary)と云って居るとの事です。

さて、「ロータリーの綱領(Object of Rotary)」に記されている通り、ロータリーの目的は、「有益な事業、職業」の基礎に、「奉仕の理想(Ideal of Service)を据える」こと。即ち、「全ての有益な職業は価値があり、社会にサービスする為に存在するもの、と認識し、職業の倫理性を高め、職業を通じて広く世の中に貢献する事」と理解して居ります。

又、ロータリーに「サービス」の概念を持ち込んだアーサー・フレデリック・シェルドンは、「職業奉仕(vocational service)とは、自分の天職(vocation)を通して、相手のため、世のためになる考えであり行為である」と位置付けました。

ロータリー活動とは、「古くから存在する道德律の、現代生活、就中、実業生活における実践に他ならない」とポール・ハリスは云って居ります。私は、ロータリアン一人一人が、自分の職業が社会的に価値あるものとして存在する事を目指すことであり、同時に、職業道德・倫理性の水準を高め、シェルドンの言う「vocational service」を実現することが原点である、と考えて居ります。



## 奉仕プロジェクト研修セミナー報告



地区奉仕プロジェクト委員会  
委員長

関 谷 和 夫

(足利東RC)

何という素晴らしいプレゼンテーションだったでしょう。

一年交換プログラムを終えて、この8月に帰国した9名の高校生達が新鮮で活力にあふれた報告を多数のロータリアンの前で堂々とやってのけました。

彼らはアメリカ・カナダ・タイ・台湾・ブラジル・フランスの6ヶ国に一年間派遣され、全期間をホストファミリーと過ごし、地元の高校に通学して同世代と交流し、見事に成長して帰国した親善使節達です。

一年交換プログラムに応募するまでは、普通の高校生だった彼らは選考試験をパスし、出発前の入念な準備と十分な訓練を受け、それこそ決死の覚悟で海外に出発したにちがいありませんでした。

そんな彼らの5分間という短時間の中で要点を上手にまとめた大人顔負けの立派なコメントにはスーパー高校生としての自信があふれていました。

又、彼らのこのプログラムに対する感謝の言葉とそれぞれの将来の抱負を聞いて、出席された近藤ガバナーはじめ、羽石ガバナーエレクト、森ガバナーノミニ、ガバナー補佐の方々、各クラブの奉仕プロジェクトに関係する委員長の皆様方は等しく感動されたことと思います。

この素晴らしい成果は青山委員長はじめ歴代の青少年交換委員の心血を注いだ活動抜きには語れないことは申すまでもありません。

点鐘で始まった本セミナーは田島地区国際親善委員長の歯切れの良い司会のもとで、近藤ガバナー、半田担当諮問委員、鈴木地区活性化委員長のご挨拶をいただいた後、瀬下職業奉仕委員長、前田社会奉仕委員長、関谷国際奉仕委員長代理がそれぞれ委員会報告を行い、小休止のあと、昨年に続く青少年育成をテーマとして、青少年交換プログラムを取り上げました。

タイトルは『一年間海外で活躍した高校生達の姿』でした。

この後、会場を移動して、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の3委員会主催による分科会会場で各部門特有のテーマで約1時間協議をし、意見交換をして散会いたしました。

今回の参加者の登録状況から判断するとCLP採用クラブが39クラブと思われ、これは前年度よりも10クラブ増加したことになり、当地区のCLP採用率は78%となります。

従来、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕のセミナーは個別に開催されておりましたが、前年度、今年度のように合同で開催することがロータリーの奉仕活動の視点から果たして是か非か議論がわかれるところでしょうが、いづれ検証しなくてはなりません。

本セミナー開催にあたりご指導いただいた半田担当諮問委員に御礼申し上げますとともに準備、運営に関わった委員各位に衷心より感謝申し上げます。







### 『第2550地区 第11回 インターアクト・クラブ年次大会』を終えて



地区インターアクト委員

中島 恭三 (足利東RC)

去る8月9日(木)第11回インターアクト・クラブ年次大会が足工大附属高校に於いて開催されました。ホストクラブは同校IACでした。(提唱クラブは私の所属する足利東RCです。)

開催を準備するにあたり、当足利東RCの栗原IAC委員長と椎名高校顧問教師とインターアクト達は大会について協議し、『インターアクトの、インターアクトによる、インターアクトのための地区大会』との方針がまとまりました。インターアクトが全てを自ら考え実行する大会です。その後、インターアクト達は、大会テーマを「和～私たちにとって大切なこと～」とし、研修内容を足利でなくては出来ない「足利学校での論語素読研修」と決めました。

インターアクト達が苦心した点の一つは予算です。と言うのは当足利東RCのIAC委員長が昨年度(塩谷高校IACホスト)より、少ない予算を提示したからです。インターアクト達は、少ない予算でどのように開催するかを話し合いました。看板や当日配布する大会プログラムを、自分達の手で作る事で予算の削減を図る事にしました。夏休み入り、毎日集っては、遅くまで、それらの作製や準備作業に励みました。また、少ない予算で参加者に楽しんでもらう為に、歓迎事業として、同校の吹奏楽部に依頼し演奏をしてもらうことにしました。吹奏楽部のメンバーも、彼らの苦勞と熱意を知り、演奏のほかに当日参加者の誘導や案内を手伝ってくれました。インターアクト達は活動することによって、信頼と友情の輪を広げ、それがまた吹奏楽部にも広がりました。大会テーマである『和』の広がりを実際に見させて戴いた思いです。







当日は大勢の来賓、ロータリアン、インターアクターの方々が参加して下さり、大会は皆様の協力の下に無事に終わる事が出来ました。ありがとうございました。そして大会経験の機会を彼等に与えてくださった事に感謝します。大会を自分達で考え協力し、やり遂げた事は、素晴らしい経験であり、彼等の中に何かが生まれたに違いありません。

また、当日、異彩をはなつたのがフィリピンのアサンプション大学附属高校IACの特別参加でした。足利学校に於ける論語の素読にフィリピンの高校生が参加する事は話題となり、NHKニュースをはじめ新聞にも報道されました。インターアクトの活動を世間に知って戴く良い機会になったと思います。(大会ではフィリピンの高校生達が用意した民族舞踊を披露する時間が取れなかったのは少し残念でしたが・・・)



このアサンプション大学附属高校IACの来日は両国のインターアクター同士の交流から生まれたものでした。足工大附属高校IACと白鷗足利高校IACは、足利東RCのフィリピンでのWCS活動に参加し、中古車椅子の寄贈や医療奉仕活動を、現地のアサンプション大学附属高校IACと共同で行いました。彼等は奉仕活動を通じて交流を深め、今回の来日となりました。アサンプションIACの受入れはインターアクターを中心に行われたもので、足工大附属高校IACは大会準備で多忙であろうと、白鷗足利IACがホームステイ受入れや活動等の世話を積極的に行い、この大会を蔭で支えてくれたと言えます。「年次大会」と「アサンプションIACの受入れ」という、二つの大きなプログラムを同時にこなせたのも、二校の連携によるものでした。

インターアクター達はこれまでの活動を通じて信頼と友情を育て、『和』を実践していたのだろうと思います。今回の大会テーマである『和』は大会の為に考えたのではなく、彼等の素直な心の現れだと思います。

私は入会まもない平成10年に那須の余笹川の水害支援にインターアクターと共にいき、そこで奉仕のあり方と感動とをインターアクターに教えてもらいました。そして今回また教えられました。彼等はいつも私の先生です。

最後に、当日ご多忙また遠方にもかかわらず、ご参加下さいました来賓の方々、各ロータリー・クラブの方々をはじめ、皆々様に感謝申し上げます。

以上



### 海外研修旅行は観光旅行か？

——インターアクター達の奉仕活動—— ②



地区インターアクト委員会  
委員長

岡川 光 佑

(宇都宮西RC)

第一日目は夜間に到着し、そのままホテルへ直行。

第二日目には、車椅子をバスに積み込み、届け先の老人福祉施設に向かう。

この施設は低所得層の老人で、家庭で面倒を見ることの出来ない状況の高齢者の面倒を見ている施設です。

団 長：両手をあわせ「サワディカップ!!」(こんにちは!!)

(男子による挨拶で丁寧語)

「私は今回日本からやってきました20名の高校生とその他12名合計32名の団長で、岡川光佑（おかがわ こうすけ）と申します。」

ガイド：「○＃\$%α◎・・・(中略)・・・●※△㎡∩☆」

団 長：「私たちは単なる観光旅行に来たのではありません。皆さんの施設に車椅子を届けるために来たのです。本日は9台の車椅子を贈り届けることが出来、大変嬉しいです。」

ガイド：「&#%▽\$■!!・・・(中略)・・・α※9◎£\*@」

団 長：「残念ながらこの車椅子は新しいものではありません。使用できなくなった車椅子を高校生達が一生懸命に修理したり、磨いたりして十分使えるようにしたものです。本当は一人ひとりの身体に合わせた車椅子が良いのですが、そのようにすることが出来ず、大変残念です。でも多くの皆さんに喜んで使用して頂ければ有難いことです。」

ガイド：「△? \$ £ \* ■ ♪ ... (中略) ... # γ δ ▼ ~ = □」

団 長：「日本には『もったいない』という言葉があります。まだ使えるものを捨ててしまう行為に対して反対することを言います。決して古くなったから持ってきたのではありません。そのことを是非ご理解下さるようお願い致します。最後になりましたが今後の幸せをお祈り致し、ご挨拶とさせていただきます。」

ガイド：「★ε√≠○%Σ・・・(中略)・・・◎\*~▼∞」

団 長：「コークプンカップ」(有難うございました。：男子による丁寧語)

車椅子の贈呈式後に、ホーム入居者による大合唱が行われました。

♪♪ 心のこもる椅子を受け 有り難いやらうれしやら  
御礼の気持ちはあるのだが お返しすべき物は無い  
私たちに出来るのは 御礼の歌を歌いましょう ♪♪

歌の意味は以上の通りとの施設長から説明があり、ジンと来た瞬間でした。



施設長より説明を受ける



入居者が休んでいる施設内の見学





### 米山記念奨学会委員会



地区米山記念奨学会委員長

池 嶋 英 哲

(西那須野RC)

本年度の、米山記念奨学会クラブ委員長研修セミナーは、昨年までのロータリー財団との合同をやめ、米山単独で8月26日に開催しました。8月30日に開催される米山本部の2007年度の理事会で、当2550地区の板橋PGが(財)ロータリー米山記念奨学会の理事長に就任されるというニュースが飛び込んで来ましたので、お忙しい所、当日おいで頂き、近藤ガバナー、落合地区諮問委員の次にご挨拶を頂きました。地区米山委員会としましてははなはだ心強い反面、少なからぬプレッシャーを感じております。午前中は、米山本部の宮崎専務理事において頂き、米山やアジアの留学生に関する最新情報と、米山記念奨学会についてご講演を頂きました。その後、塚越小委員長による寄付の地区現況と、米光小委員長による学友会についての話がありました。塚越小委員長からは、今市、真岡、宇都宮の各クラブは、一人があと何百円か寄付すれば1万8千円の地区目標に達成するところでしたということと、特別寄付が0円のクラブが3クラブあったので、今年はロータリアンとして、いく分なりともご協力頂きたいとのお願いがありました。午後は、本来でしたら現在地区内にいる27名の奨学生全員から卓話をしてほしかったのですが、時間の関係もあり9名の奨学生にお願いしました。出身国、学んでいる大学、学部がさまざまな生徒達ですが、日本に来た理由や、現在の研究、将来の目標などについて、立派な日本語で話してくれましたので、各委員長の皆様も米山記念奨学会の活動の一端を十分ご理解頂けたのではと思っております。米山の寄付は、世話クラブ、カウンセラーの経験のある所が未経験のクラブより実績が上回っている、というデータがございます。研修会で卓話をお聞きになり、「クラブの会員にもぜひ聞かせたい」それにより寄付金が多くなる、という構図を画いておりましたので、月間の卓話の依頼が入って来ておりますことに心より感謝申し上げます。今年度は、米山月間に限らず各クラブのプログラムにあわせて卓話に派遣致しますのでぜひお申し込み下さい。来年度は23名の新規奨学生が誕生します。できれば未経験のクラブからのお申し出を歓迎致しますが、今までご経験のクラブでも大歓迎でございます。決定からカウンセラーのお願いまで日数がありませんので、今のうちからお考え頂けますことをお願い致しておきました。



### 第一回 会長・幹事会報告



地区幹事

篠崎 昌平

近藤ガバナー年度、第一回会長・幹事会が8月25日(土)宇都宮RCをホストとして、宇都宮二荒山会館において開催された。

県内各クラブ会長、幹事、ガバナー補佐、地区役員等130余名が参加し盛会裡に行われ、且つ活発、有意義な研修会であった。

別紙プログラムにより進行、近藤ガバナーのご挨拶、地区幹事の地区概況報告、地区会計長の地区会計概況報告、次に落合前ガバナーより、2006～07年度のRIより“意義ある業績賞”を受賞された佐野RC、広報賞に宇都宮西RC、会員増強大賞に真岡RCの3RCの栄えある表彰が行われました。続きまして地区代議員半田久一PGから、去る4月22日～27日の日程でシカゴ市において行われた2007年度規定審議会の経過について詳細な報告がなされました。引き続き、本日のメイン研修である「クラブ活動の活性化とその問題点」と題して研修リーダー第2770地区バスターガバナー田中徹夫様(岩槻東RC)によりロータリーについて詳細にわたりお話を頂戴し、各クラブ会長、幹事と質疑応答が行われ、クラブの活性化と会員増強のノウハウ等、活発な意見交換がなされ、解りやすくご指導を頂きました。

尚、会長・幹事会終了後、17:30分より会場を移動してなごやかに懇親会が行われ、宇都宮RC・青木実行副委員長の閉会のことばで滞りなく終了いたしました。







### 第一回会長・幹事会 プログラム

◆平成19年8月25日(土) ◆場所:宇都宮二荒山会館 ◆ホスト:宇都宮RC

13:30~14:00	登 録 受 付 司 会	善林 隆充
14:00	点 鐘	近藤 隆亮
	開 会 の 言 葉	石下 年資
	歓 迎 の 言 葉	ホストクラブ会長 関口 快流
14:10	ガ バ ナ ー 挨 拶	ガバナー 近藤 隆亮
	地 区 概 況 報 告	地区幹事 篠崎 昌平
	地 区 会 計 概 況 報 告	地区会計長 久保井一臣
	2 0 0 6 - 0 7 年 度 表 彰	直前ガバナー 落合 雅雄
14:30	規 定 審 議 会 報 告	地区代表議員 半田 久一
15:00~16:30	「クラブ活動の活性化とその問題点」	D2770パトガバナー 田中徹夫 (岩槻東)
16:30~16:40	休 息	
	各奉仕部門セミナーの報告と質疑	
16:40~	地 区 活 性 委 員 会	地区委員長 鈴木 宏
(一委員会5分)	ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会	地区委員長 亀田 清
	奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 委 員 長	地区委員長 関谷 和夫
	新 世 代 プ ロ ジ ェ ク ト 委 員 会	地区委員長 川名 悟
	R 財 団 委 員 会	地区委員長 佐野 正行
	米 山 記 念 奨 学 会	地区委員長 池嶋 英哲
	質 疑 応 答	
17:20	点 鐘	ガバナー 近藤 隆亮
会 場 移 動		
	懇 親 会	進行:地区幹事 篠崎 昌平
17:30	乾 杯	地区研修リーダー パストガバナー 佐野 正行
18:40	閉 会 の 言 葉	実行副委員長 青木 直樹
	終	

### 地区概況報告

◆クラブ会員数 2006年 7月1日 50RC 1948名  
2007年 7月1日 50RC 1901名  
2007年 7月末日 50RC 1928名

◆ロータリー財団総寄付額 (2006年7月~2007年6月)  
年次寄付 目標 \$233,460.00  
実績 \$235,575.74  
1人当り \$121.56  
クラブ目標達成クラブ 26クラブ  
地区目標達成クラブ  
(1人当り\$130-)22クラブ  
使途指定寄付 \$10,132.11  
基金寄付 \$71,868.44  
総 計 \$317,576.29

◆米山記念奨学会 (2006年7月~2007年6月)  
過去累計額 1,000,875,446円  
普通寄付金 7,264,900円  
特別寄付金 28,522.868円  
1人当り平均額 18,296円 (全国第8位)

◆ローターアクトクラブ 合計3クラブ  
足利東RAC (足利東) 6名  
宇都宮東RAC (宇都宮東) 7名  
鹿沼RAC (鹿沼) 8名

◆インターアクトクラブ 合計12クラブ  
白鷗大学足利高校 (足利東) 6人  
文星芸術大学附属高校 (宇都宮) 8人  
宇都宮短期大学附属高校 (宇都宮西) 22人  
足利短大附属高校 (足 利) 12人  
塩谷高校 (矢 板) 321人  
國學院大学栃木高校 (栃 木) 25人  
足利高校 (足 利) 18人  
栃木工業高校 (栃木西) 65人  
青藍泰斗高校 (葛 生) 14人  
足利工業大学附属高校 (足利東) 15人  
黒磯高校 (黒 磯) 43人  
宇都宮文星女子高校 (宇都宮北) 42人





### “パスト会長の集い”報告



地区幹事

篠崎 昌平

近藤ガバナー年度の新しいプログラムとして去る9月2日(日)“パスト会長の集い”が宇都宮グランドホテルにおいて県内各クラブから、パスト会長・ガバナー補佐・地区役員、180名余の会員が一堂に会いし、午前～午後に亘り、和やかに開催されました。

近藤ガバナーのご挨拶と地区現況報告がなされ、2007年7月1日の期首会員数が1901名で対前年47名減でスタートとなったこと、但し8月末日には少し戻り増となっておりますが、地区と各クラブの活性化の為に会員増強の必要性を要望されました。

続いて元RI理事板橋敏雄PGから“RIの最近の動向と現状”についてお話があり、午後にはRIの研修リーダー関場慶博様(弘前R.C)が“クラブ活性の鍵”と題し自ら実践されたアフリカでの奉仕活動など、大変感銘深いお話をいただきました。

更に会員増強と退会防止の方法など具体的な例と資料を示されてお話になり、大変有意義なパスト会長の集いとなりました。

尚、そのあとの意見交換では活発な意見が交換され今後もこの様な機会を作りたい旨の意見が述べられ、ロータリーの活性化を望むとの熱心な声があり閉会時間をオーバーせんばかりの熱の籠った研修会となりました。

クラブの活性化と更なるロータリーの発展・充実の為にパスト会長様各位の今後の益々のご活躍とご参加をお願い申し上げます。







国際ロータリー第2550地区 2010～2011年度  
**ガバナーノミニー候補者推薦について**



国際ロータリー第2550地区  
 2007-2008年度ガバナー

近藤 隆 亮 (宇都宮RC)

国際ロータリー細則第13条ガバナー指名と選挙の定めに従い、国際ロータリー第2550地区2010～2011年度ガバナーノミニーを指名するため、貴ロータリークラブより適任者を下記によりご推薦くださいますようお願い申し上げます。

推薦については、手続要覧の国際ロータリー細則13条及び15条を参照の上、下記事項を提出下さい。

記

氏 名	_____	所属クラブ	_____
生年月日	_____	ロータリー歴	_____

推薦締切日 2007年12月1日(土)  
 提出先 近藤ガバナー事務所

2010～2011年度選出ガバナー指名委員会委員長 村上 肇

パスト会長の集いプログラム

◆平成19年9月2日(日) ◆場所:宇都宮グランドホテル ◆ホスト:宇都宮RC

10:00～10:30	登 録 受 付	司 会	石島 洋
10:30	点 鐘	ガバナー	近藤 隆亮
	歓 迎 の 言 葉	ホストクラブ会長	関口 快流
10:35	ガバナー挨拶並びに地区現況報告	ガバナー	近藤 隆亮
11:00～12:00	「RIの最近の動向と現況」	元RI理事	板橋 敏雄
12:00～12:45	昼 食		
12:45～14:00	「クラブ活性の鍵」	RI研修リーダー	関場 慶博(弘前RC)
14:00～15:30	意 見 交 換		
15:30	点 鐘	ガバナー	近藤 隆亮

講 演 者 紹 介

<b>関 場 慶 博</b> (弘前RC) 1950年1月20日 生まれ 医療法人栄現会理事長、せきばクリニック院長 医学博士、小児科専門医、日本医師会認定スポーツ医、 熱帯医学専門医、躰道6段教士	1988年	弘前ロータリークラブへ入会
	2000～2001年	国際ロータリー第2830地区ガバナー
	2003～2004年	国際ロータリー第2500地区RI会長代理
	2005～2006年	国際ロータリー第3710地区RI会長代理
	2006年	RI研修リーダー
	2007年	RI研修リーダー





### 足利 ロータリークラブ公式訪問

■7月27日(金曜日)

■会場：蓮岱館



第8グループ・ガバナー補佐

板橋 博



10時30分、近藤ガバナーをお迎えして公式訪問が始まりました。

飯島会長より現況についての説明と、創立55年目という歴史の中で、諸先輩の絶える事無くクラブを継続された業績についての話がありました。

懇談会は、近藤ガバナーから本年度のテーマ「ロータリーは分かちあいの心」についての話しから始まり、質疑応答が行われ12時20分頃終了しました。

12時30分より例会が始まり飯島会長の歓迎挨拶、栗田幹事の報告、各委員会の報告に続き近藤ガバナーの卓話がありました。色々な話の中で主に話されたのがロータリーの魅力、会員増強でした。卓話終了後記念撮影が行われました。

その後別室にてクラブ協議会が開かれ、飯島会長が進行役を担当し会議が進められました。クラブ奉仕委員会より始まり、14の委員会から活動方針、事業計画、予算について説明があり、その後委員会毎の質疑応答が行われました。

予定時間を30分オーバーする中身の濃い協議会で、伝統を持つ重みのあるクラブと感じました。

### 小山 ロータリークラブ公式訪問

■8月23日(木曜日)

■会場：小山グランドホテル



第5グループ・ガバナー補佐

神山 宜久



さすが当地区古参のクラブ、第五グループの他4クラブの親クラブでもあり、伝統と日頃の積み重ねも相まって、なるほどこうならせるものを持っています。

まず第一に「お客様に対する御持て成しの心」を随所に感じ取ることができました。4つのテストの実践を垣間見たような気がしました。ガバナー公式訪問を重点事業と位置づけ、十分な準備の下、滞りない企画進行を取ったことにある種の重みを感じました。

次に、クラブ運営に対する直向きさに感服しました。「ロータリー潰すに弓矢は要らぬ、例年通りにやれば良い。」と言われ、どうしてもマンネリ化してしまう傾向があるものですが、このクラブをのぞかせて頂いて正直のところ驚きました。次年度会長がエレクトに選任された時から次年度に向けて活動が始まっているそうです。あくまでも単年度事業にこだわり任期満了までの成果を目指して、何度も役員会を繰り返し、自年度の円滑なスタートが切れるように意思の疎通を図る姿勢に見るべきものがあります。

CLP導入2年目という事もあり、かなり纏まった態勢にあります。心の何処かに不安があるとお見受けしました。今回のガバナーとのやり取りの中でかなりのわだかまりが吹っ切れたのではないかと思います。

長い歴史と伝統を持ったクラブで在りながら、伝統に胡坐をかかなく、部勢拡大と上昇の意思を持った点、頼もしい限りですが、この勢いを地区活動にまで持ち込んで頂けるとより輝ける存在になるだろうと思います。

やっぱりロータリーは楽しい！





### 足利わたらせ ロータリークラブ公式訪問

■8月30日(木曜日)  
■会場：プリオパレス



第8グループ・ガバナー補佐

板橋 博



10時30分、近藤ガバナーをお迎えして公式訪問が始まりました。

懇談会では、先に植木会長から提出された質問書について、近藤ガバナーより説明がありました。主に、CLPについての質疑応答が熱心に話し合われました。そして、植木会長からは、本年度のクラブ活動方針について「炉辺会合の充実」「例会プログラムの充実」「ファミリー委員会の活性化」「会員3名の増強達成」「環境に関するプロジェクトの立上げ」等をお話されて、12時20分頃終了しました。

12時30分より例会が始まり植木会長の歓迎挨拶、小原澤幹事の報告に続いて、各委員会の報告があり、その後近藤ガバナーの卓話に入りました。始めに、本年度のテーマ「ロータリーは分かち合いの心」についての話しから始まり、次に主な話としてロータリーの魅力についてと、会員増強について話されました。そして、会員増強に貢献した会員には特製の「バッジ」を贈呈する事をお話されました。早速、8月に1名増強に貢献された倉林敬会員に、近藤ガバナーよりバッジが胸に付けられました。

例会終了後記念撮影が行われ、引き続き別室にて協議会に移りました。植木会長が進行役を務め会議が進められました。21の委員会委員長より、活動方針・事業計画・予算についての説明があり、その後委員会毎の質疑応答が行われました。熱心な質疑に近藤ガバナーも熱弁を以って応答し、コップの水を2杯飲む程でした。

創立18年目を迎え、30名の会員が今迄先輩の築いて来たクラブ奉仕活動、地域奉仕活動等が植木会長、小原澤幹事を中心として、今後も受け継がれていく姿を実感致しました。

### 今市きぬ ロータリークラブ公式訪問

■9月4日(火曜日)  
■会場：ホテルつたや



第7グループ・ガバナー補佐

馬場 清市



近藤ガバナーをお迎えしてのクラブ公式訪問が午前10時30分より添野会長、湯浅幹事、鈴木副会長、三浦プロジェクト委員長、吉田ロータリー情報委員長の出席により懇談会が開始され、添野会長より予め用意されている質問等がなされ、その件に関して、近藤ガバナーより詳しく説明がなされました。

その中で、ロータリーの目的、目標に関しまして、価値ある事業の基礎として「奉仕の理想」を奨励する事であり、「奉仕の哲学」を実践する事で、居ながらにして、世界奉仕、世界平和に参加出来るのがロータリーですとお話下され、改めて大変勉強になりました。

午後12時30分より、クラブ例会が、添野会長の点鐘、あいさつで開始、近藤ガバナーの「ロータリーは分かち合いの心」について、嬉しい実例を上げての卓話を頂きました。

午後1時30分より、クラブ協議会が始まり、各委員長より、報告、質問が行われ、又、近藤ガバナーからも、質問が成され、大変活気のあるクラブ協議会が行われ、そして、ガバナー公式訪問が終了しました。





### しもつけ ロータリークラブ公式訪問

■9月5日(水曜日)

■会場：石橋商工会館アイリスホール



第4グループ・ガバナー補佐

富田 兵 哉



2006年1月10日石橋町、国分寺町、南河内町の3町合併に伴い2006年8月16日付で石橋RCからしもつけRCと名称変更した創立12年目の第4グループで一番若いクラブであります。

第4グループとして最初の近藤ガバナー公式訪問が9月5日石橋商工会館で開催されました。午前中近藤ガバナーとの懇談会では大栗会長、荒川幹事はじめ8名の役員が出席され、ガバナーの丁寧なご指導をいただき、途中、高木会員による点茶のサービスがあり、和やかな雰囲気の中、行われました。

例会でのガバナー卓話ではロータリーとはすべての人類に向けられた人類愛であり、クラブ会員一人ひとりがロータリアンとして、その地域に於いてクラブ独自のプログラムをもって奉仕活動することを基本理念とし常に活性化に努めること等、詳細に力説されました。

続いて、クラブ協議会ではCLP導入に伴い、会員組織、奉仕プロジェクト、クラブ情報、ロータリー家族各委員長により現況説明があり、質疑に対してはガバナーより丁寧な説明をいただきました。

クラブの特色としてタイ国13350地区スリウォンRCとトンブリRC間に於けるマッチンググラウンドで浄水器、障害児の教育訓練施設プロジェクト活動が3年目を迎え、継続中である。

今年度地区委員を3名算出し、女性会員8名を有し、和やかで活気ある、バランスのとれたクラブであり、今後の活躍を期待しております。

### 栃木 ロータリークラブ公式訪問

■9月12日(水曜日)

■会場：栃木グランドホテル



第6グループ・ガバナー補佐

松本 欣 也



9月12日(水)大雨の中、山口会長、白澤副会長、川嶋幹事、黒川R情報委員長の出迎えのもと、近藤ガバナーが到着。早速懇談会を開催。会長より本年度の方針の説明。大上段にロータリーを振りかざさず、やる事は平易であるが、長く継続して行きたいと話があり、近藤ガバナーよりDLP、CLPについて説明、定款に沿ってフリーハンドでクラブ組織づくりを、そしてクラブ細則を毎年換えて行くくらいの考えでクラブの運営が望ましいと説明がありました。時間が足りないほど熱の入った、それでも和やかに懇談会は正午過ぎまで進められました。その後メンバー全員の温かい歓迎の拍手の中、例会場に入場。さすが2550地区創立3番目(S29年6月)の伝統あるクラブだけあってピーンと張り詰めた雰囲気の中例会が始まりました。クラブ協議会においては21全委員会より発表があり、近藤ガバナーはそれぞれ委員会に対して事細かくコメントなされ、時間の過ぎていくことを忘れてしまう程大変有意義な協議会でした。終了後、栃木ロータリーの多くのメンバーから、今までになく解かり易く、はっきりとしたガバナーの話で大変良かった。と大好評でした。

近藤ガバナーをお送りするときには、朝の大雨はうそのように上がり、すばらしい秋空が広がっていました。



かね こ まさ お  
**金子 昌郎**  
(宇都宮RC)  
合資会社 花久商店  
代表社員  
入会年月日 平成19年8月2日



こ ばやし たつ おき  
**小林 辰興**  
(宇都宮RC)  
(株) 栃木銀行  
取締役頭取  
入会年月日 平成19年8月15日



さ さ き ひろ ゆき  
**佐々木 宏幸**  
(宇都宮RC)  
(株) 荒井設計  
代表取締役社長  
入会年月日 平成19年8月10日




かめ だ やす ひろ  
**亀田 康弘**  
(佐野RC)  
(株) 栃木銀行佐野支店  
支店長  
入会年月日 平成19年8月20日



あさ の けんいちろう  
**浅野 謙一郎**  
(佐野RC)  
(株) 景月  
代表取締役  
入会年月日 平成19年8月20日




かめ やま しげる  
**亀山 滋**  
(佐野RC)  
亀山(株)  
代表取締役  
入会年月日 平成19年8月20日  
 地域社会の為に、どれ程のことが出来るのか自信はありませんが、尽力させていただきます。




わた ひき ひさ お  
**綿引 寿男**  
(佐野RC)  
綿引クリニック  
院長  
入会年月日 平成19年8月20日




ひと み まさ ひこ  
**人見 誠彦**  
(西那須野RC)  
大田原信用金庫西那須野支店  
支店長  
入会年月日 平成19年8月7日  
 8月から入会させていただきます。宜しくお願いします。




なが くら たてる  
**長倉 樹**  
(馬頭小山RC)  
鷺子山神社  
宮司  
入会年月日 平成19年8月1日  
 ローラークラブでの活動は、初めてになりますが奉仕の精神にもとづいて、がんばりたいと思います。




**物井 栄三郎**  
(宇都宮南RC)  
(有)ル・フェステ  
代表取締役  
入会年月日 平成19年9月12日  
 ポジティブな人間と自認していますが小心者でもあります。宜しくお願いします。



かわ ひと たけ し  
**川人 健司**  
(宇都宮陽東RC)  
(株) スタッフバンク  
代表取締役  
入会年月日 平成19年9月5日  
 宜しくお願いします。



ほし の えい いち  
**星野 詠一**  
(鹿沼RC)  
(有)ごくらくや  
専務取締役  
入会年月日 平成19年9月6日  
 ローターアクトを卒業して、入会させていただきました。よろしくお願います。





謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



とう こう はじめ  
東 郷 肇  
(大田原RC)

ご逝去  
平成19年8月28日(享年79歳)

1979年	4月入会	1996年~97年	会長
1980年~81年	広報	1998年~99年	広報
1982年~83年	出席	1999年~00年	情報
1983年~84年	職業	2001年~02年	選考
1984年~85年	プログラム	2002年~03年	雑誌
1986年~87年	SAA	2003年~04年	米山
1988年~89年	増強	2005年~06年	広報
1989年~90年	社会	財団07年6月現在	\$3,950.52
1992年~93年	選考	PHFO MPHFOO	
1995年~96年	クラブ	米山特別寄付07年6月現在	¥623,000マルチブル(6)



ほ さか ただし  
甫 坂 董  
(栃木RC)

ご逝去  
平成19年7月21日(享年80歳)

1977年	8月入会
2003年~04年	クラブ会長
PP	ポール・ハリス・フェロー
YY	米山功勞者

文庫通信 240号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆先輩のロータリー観(2)☆

◎「サービス思想の意味するもの」	塚本義隆	大阪R.C.	1972	66P
◎「フォアウェイ・テストは前進する」	大阪R.C.	1972	42P	
◎「小話「フォアウェイ・テスト」」	塚本義隆	大阪R.C.	1973	21P
◎「フォアウェイ・テストの日本語訳は正しいか」	塚本義隆	D.366	1974	20P
◎「浪費ひどすぎる《こうして物を大切に》」	塚本義隆	D.366	1975	49P
◎「むつかしくはないヴォケーションナル・サービス」	塚本義隆	大阪R.C.	1976	30P
◎「ロータリー定礎の三人」	塚本義隆	大阪R.C.	D.266	1979 42P
◎「ロータリアンのお題目」	塚本義隆	大阪R.C.	1979	29P

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



月	日	曜日	行 事	担 当		場 所
10	6	土	第13回地区親善野球大会前夜祭		大田原	ニュー勝田屋
	7	日	第13回地区親善野球大会		大田原	美原運動公園
	9	火	第6グループIM	栃木西(ホストクラブ)	栃 木	サンルートプラザ栃木
	14	日	一年交換派遣学生(2008年)選考試験	青少年交換委員会	栃 木	サンプラザ
	28	日	馬頭小川RC創立35周年記念式典	馬頭小川RC	那珂川町	南平台温泉ホテル
11	2 3 4	金 日	第31回 青年男女対象ライラセミナー	地区ライラ委員会	鹿 沼	ウエルサンピア栃木
	20	火	財団地域セミナー		東 京	Hグランパシフィックメリディアン
	21 23	水 金	ロータリー研究会		東 京	Hグランパシフィックメリディアン
12	16	日	第3回 諮問委員会 羽石GE壮行会	G事務所	宇都宮	宇都宮グランドホテル

### ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

### The Object of Rotary

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business and community life;

Fourth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

## お知らせ

### ◎中越沖地震災害義援金

地区各クラブの皆様より 合計 ￥1,672,793 が集まりました。

9月11日、ガバナー会へ送金いたしましたので、ご報告します。有難うございました!!



# 国際ロータリー第2550地区 8月会員増強・出席報告

		8月										
分区	クラブ名	例回数	出席率		会 員 数							
			今 月	平 均	7月1日	今 月	入 会	退 会	通算増	通算減	増 減	内女性 会 員
第1グループ	大 田 原	4	83.10	85.00	46	47	0	1	3	2	1	3
	黒 磯	4	99.50	99.50	42	45	0	0	4	1	3	2
	西 那 須 野	3	93.56	96.58	51	52	1	0	1	0	1	0
	黒 羽	5	85.00	85.50	20	20	0	0	0	0	0	1
	那 須	4	82.41	84.26	24	27	0	0	3	0	3	3
	塩 原	4	77.50	75.00	10	10	0	0	0	0	0	0
	大 田 原 中 央	5	78.00	81.50	18	19	0	1	2	1	1	0
第2グループ	鳥 山	3	81.47	79.62	18	18	0	0	0	0	0	1
	氏 家	4	90.83	92.88	32	34	0	0	2	0	2	0
	矢 板	4	88.70	89.10	33	33	0	0	0	0	0	5
	馬 頭 小 川	4	91.30	89.97	22	23	1	0	1	0	1	0
	高 根 沢	4	100.00	94.50	14	19	0	0	5	0	5	0
第3Aグループ	宇 都 宮	3	77.90	77.75	92	95	4	0	4	1	3	0
	宇 都 宮 西	4	91.14	91.15	61	62	0	1	2	1	1	0
	宇 都 宮 北	4	81.51	83.34	59	59	0	0	0	0	0	0
	宇 都 宮 9 0	4	83.07	83.80	40	41	1	0	1	0	1	4
	宇 都 宮 陽 北	4	88.80	81.70	34	34	1	0	1	1	0	5
第3Bグループ	宇 都 宮 東	3	93.66	93.59	101	102	0	1	2	1	1	0
	宇 都 宮 南	4	78.95	78.48	50	53	0	0	3	0	3	0
	宇 都 宮 陽 東	4	90.50	85.89	44	44	0	0	0	0	0	1
	宇 都 宮 陽 南	4	100.00	91.88	20	20	0	0	0	0	0	4
第4グループ	真 岡	4	92.07	89.64	46	47	1	0	1	0	1	0
	益 子	4	91.30	92.50	38	38	0	0	0	0	0	0
	真 岡 西	2	96.67	95.67	47	47	0	0	0	0	0	8
	し も つ け	4	90.52	89.66	30	30	0	0	0	0	0	8
第5グループ	小 山	4	93.73	93.14	49	51	2	0	2	0	2	0
	小 山 南	4	95.00	96.50	20	20	0	0	0	0	0	2
	小 山 東	5	88.00	90.25	40	40	0	0	0	0	0	0
	小 山 北	5	83.33	82.41	28	28	0	0	0	0	0	0
	小 山 中 央	4	77.00	74.50	26	26	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃 木	4	91.51	90.34	54	53	0	0	0	1	-1	0
	栃 木 西	3	90.15	88.98	44	44	0	0	0	0	0	2
	壬 生	4	70.00	70.00	19	20	1	0	1	0	1	2
	栃 木 南	4	93.00	95.00	33	33	0	0	0	0	0	4
第7グループ	日 光	4	72.50	76.25	29	29	0	0	0	0	0	3
	鹿 沼	4	91.48	90.37	71	71	0	0	0	0	0	1
	今 市	4	92.53	92.21	42	43	0	1	2	1	1	0
	鹿 沼 東	4	96.62	95.61	46	46	0	0	0	0	0	2
	粟 野 西 方	3	98.03	99.02	17	17	0	0	0	0	0	1
	鹿 沼 中 央	4	92.24	87.50	30	30	0	0	0	0	0	1
	今 市 きぬ	3	96.67	93.75	30	30	0	0	0	0	0	1
第8グループ	足 利	4	78.49	76.75	43	43	0	0	0	0	0	0
	足 利 東	3	85.40	76.81	60	61	0	0	1	0	1	9
	足 利 西	5	76.65	75.82	15	15	0	0	0	0	0	0
	足 利 わ た ら せ	5	90.78	91.69	29	29	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐 野	3	88.80	88.70	57	61	4	0	4	0	4	0
	葛 生	4	92.30	91.00	36	39	0	0	3	0	3	0
	田 沼	5	87.50	89.59	42	42	0	0	0	0	0	0
	佐 野 東	4	86.96	80.98	23	23	0	0	0	0	0	0
	岩 舟	3	84.60	86.90	26	26	0	0	0	0	0	1
5 0 R C			88.01	87.25	1901	1939	16	5	48	10	38	75